

2 共同住宅の再生のための技術

・共同住宅再生に資する技術について、耐久性・耐用性、環境・省エネルギー性能、耐震性、防災性、高齢者対応の5つの分野で性能を向上させようとする場合に適用できる改修技術又は調査・診断技術のうち、現状、広く利用されているもの、及び、今後重要性を増すと考えられる課題への対応のため活用が検討されるべきものを抽出した。それら個々の技術についてシート化するとともに、技術の概要や適用対象等を記載した。

改修技術(合計150シート)

性能分野	技術数
耐久性・耐用性	43
環境・省エネ	52
耐震性	19
防災性	19
高齢者対応	17

調査・診断技術(合計33シート)

性能分野	技術数
耐久性・耐用性	19
環境・省エネ	13
耐震性	1

国土交通省・持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会

個別技術シートの一例

性能分野	耐震性
大分類	耐震性の向上
中分類	強度型の補強【外側改修】
技術の名称	外付けフレーム増設工法（建物外部の補強）

・既存建物の柱・梁フレームの外側にフレームを新設することにより、建物全体の耐震性を向上させる。
 ・既存建物と新設フレームとの接合は、床スラブ
 ・既存の基礎の状況等により、基礎の補強とし
 ・補強フレームが高さ制限などに影響するので
 ・新設スラブの形状によっては床面積の増加と
 ・雨掛りの箇所に鉄骨部材を用いる場合は定規

改修技術の概要

最終更新日 H24.10.00
改修技術 No. 13101402

性能分野

性能分野	環境・省エネルギー性能
大分類	断熱性の向上
中分類	躯体の断熱性の向上 / 外壁の外断熱の向上
技術の名称	外壁外断熱工法（乾式通気層外断熱工法）

【改修工事の主な内容】
 ・外壁の外側側に断熱層を設けることにより、日射による蓄熱や室温変化、内外温度差により発生する結露および結露によるカビの発生を低減する。断熱と共に熱応力低減による躯体保護、耐久性の向上にも効果がある。また、躯体蓄熱の低減によるヒートアイランド現象の緩和にも効果がある。
 ・外断熱工法には、ビンネット押え外断熱工法、乾式密着外断熱工法、乾式通気外断熱工法、湿式密

最終更新日 H24.10.00
改修技術 No. 12101203